



インターン シップ 機関報告会

東北公益文科大学 B3班

山口賢也 富樫勇人

五十嵐璃玖 吉田翔

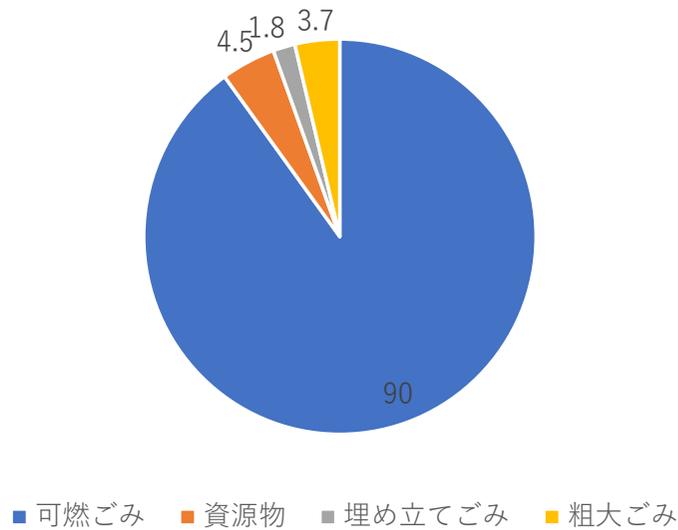


課題

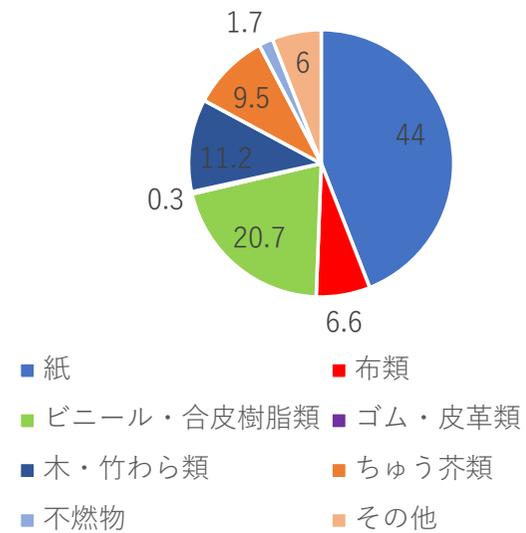
ゴミの排出量を削減するにはどうしたらよいか？

酒田市のごみの種類と割合

ごみ別構成割合



可燃ごみ組成分類



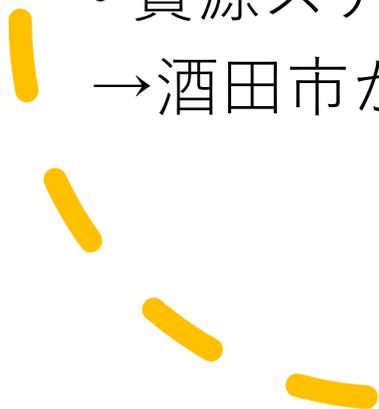
酒田市が 行っている 政策

- 資源回収運動の奨励
- 紙類資源回収の奨励
- ごみ出し情報の発行
- ごみ減量化に係る研修会の実施
- 事業系ごみ減量啓発チラシの配布
- その他ごみ減量化PR(市の広報年4回掲載、学校・保育園等を通じた普及活動、市役所1階の表示板を使った普及等)



現在の酒田市の紙資源の回収方法

- ごみのカレンダーの日にならに合わせ、ゴミステーションに出す。
- 集団資源回収→各地区で日にちを決めて回収する。
- 資源ステーションは7か所ある。
→酒田市が業者に依頼している。



私たちが考える解決策①

【紙類回収ボックス】

- ・酒田市の各ゴミ捨て場に設置。

それを資源ごみリサイクルセンターに持っていく。

→可燃ごみの紙の割合が減る。



- ・ゴミ捨て場や近くの電柱にポスターを貼ることにより、認知度を上げる。



私たちが考える解決策①

【紙回収ボックス】

メリット

- ・ 要らない紙を燃やさなくても良い。
- ・ リサイクルすることによって紙資源の節約ができる。
- ・ 資源ごみリサイクルセンターまで持っていく手間が省ける。

私たちが考える解決策②

【食品トレーの回収・有効利用とトレー用ゴミ袋作成】

例：ト一屋・・・回収したトレーを製紙会社のボイラーの燃料にしている。



- ・ トレーを捨てずに、有効利用できていると考える。
- ・ トレー用ゴミ袋を作ることによって可燃ごみと一緒に出さずに済む。

私たちが考える解決策②

【食品トレーの回収・有効利用とトレー用ゴミ袋作成】

メリット

- ・ トレーを可燃ごみとして燃やす必要が無い。
- ・ トレー用ゴミ袋を作ることによって可燃ごみと一緒に出さずに済む。
- ・ ごみ袋も同時に作成することで分別しやすい環境になる。
- ・ トレーを可燃ごみとして燃やす必要が無い。
- ・ トレーの使い道が増える。
- ・ 酒田市の2割を占めているビニール・合皮樹脂類を減らせる。

私たちが考える解決策②-参考すべき事例

【酒田市の取り組み事例】

・ トー屋

→店頭で食品トレーを回収し、製紙会社のボイラーの燃料にしている。トレーで新たな紙を作成できる。株式会社 エコーが関わっており収集、処理、リサイクルをしている。

・ ヤマザワ

→ヤマザワ各店で回収している食品トレー（発泡素材と透明トレー）は、専門の業者に引渡し、トレーの製造業者によって再生されます。

私たちが考える解決策②-参考すべき事例

【新庄市のトレーリサイクル方法】

・食品トレーリサイクルシステム「新庄もがみ方式」は、市民・行政・小売業者・福祉施設・トレーメーカーと地域ぐるみの参加と協力で成り立っている。

→第一の目的は、使用済みトレーを回収し、再生原料に戻して、トレー製造原料として活用することにより資源の地域循環を行い、環境保全に貢献すること。

・もう一つの目的は、障がい者の就労機会の拡大を図り、収入を確保することにより、生活支援として役立てられることです。

→福祉施設が参加し、食品トレーを焼却することなく再生トレーとして蘇らせるシステム

私たちが考える解決策②-参考すべき事例

【新庄市のトレーリサイクル方法】

事業内容

☆ 事業の意義

◇ 焼却処理されている使用済み食品トレーをリサイクルし、資源の地域循環と地球環境保全に貢献します。

◇ 社会福祉施設（障害者本人と支援者）の社会参加の機会を拡大します。

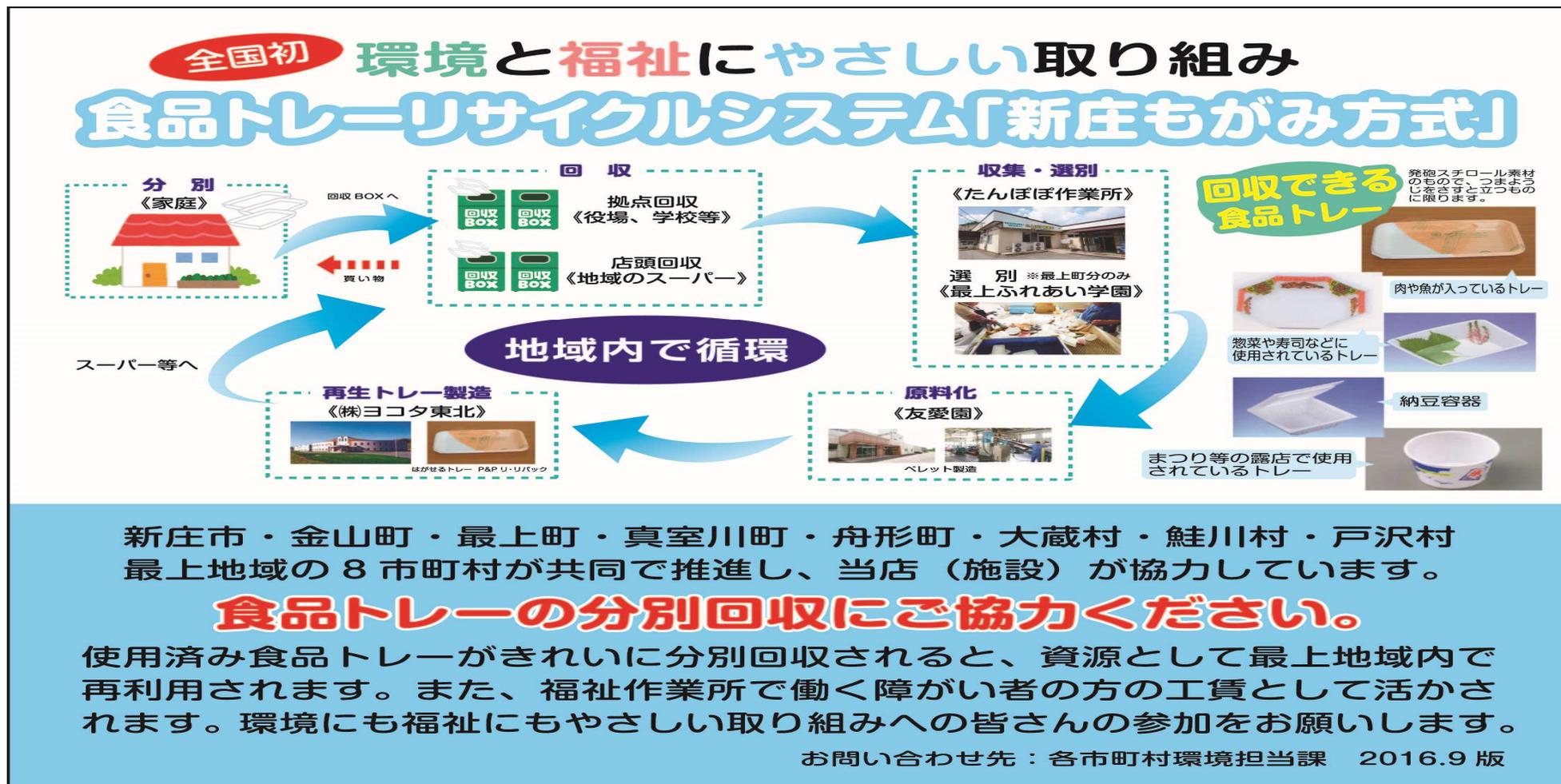
☆ 実施主体と役割

◇ たんぽぽ作業所・・・食品トレーの収集と選別

☆ (株)ヨコタ東北の連携

◇ ペレット購入・・・P & P トレーの原料として製造されたペレットを購入

私たちが考える解決策②



私たちが考える解決策②-参考すべき事例

【酒田市と新庄市のトレーリサイクル方法の違いと解決すべき課題】

- ・トレーを再利用する代表的な会社がない。
- ・トレーを分別しないためリサイクルする意識がない。
- ・スーパーで回収をしているところとしていないところがあり統一されていない。

現段階での解決しなければならない課題

- ・分別を市全体で考える必要がある。
- ・トレーを分別できる袋を増やす。
- ・スーパーはトレー回収の場とする。
- ・リサイクルする企業を酒田市に置く

結論

- 実現すれば、ゴミの排出量を減らすことができるが、残された課題もある。

【紙類回収ボックス】

- 移動式と固定式のステーションがあるため、設置場所を固定できない。
- 回収ボックスの形。(雨に濡れないためにはなど)

【食品トレーの回収】

- 市や業者の負担を軽減するには？



これから考えて解決していく。

参考文献

- ・ 酒田市ごみ処理基本計画

<http://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/shimin/gomisyori/gomikihon2005.files/gomikihon2005.pdf>

- ・ 新庄市ホームページ

<https://www.city.shinjo.yamagata.jp/s008/100/20161011104119.html>